

既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした診断・調査・補修に関する研究委員会  
第 2 回全体委員会 議事録(案)

日 時：2019 年 3 月 28 日（木）14:00～17:00

場 所：JCI 本部会議室

出席者：竹田委員長、十河顧問、江良幹事長、山口幹事、濱崎幹事、位田幹事代理、野島委員、  
上田委員、遠藤委員、湯地委員、飯塚委員、花房委員、井上委員、山本委員、審良委員、  
堤委員、戸口事務局

欠席者：田中幹事、都築委員、宮内委員

配布資料：

- No.2-0 議事次第
- No.2-1-1 第 2 回幹事会 議事録
- No.2-1-2 第 3 回 WG1、2 合同 議事録
- No.2-1-3 第 2 回 WG1、2 合同 議事録
- No.2-1-4 第 1 回 WG1、2 合同 議事録
- No.2-1-5 第 1 回全体委員会 議事録
- No.2-2 研究委員会（第 110 回）議事次第
- No.2-3 予防保全意識調査アンケート資料
- No.2-4 予算執行状況・予想
- No.2-5 シンポジウムまでのスケジュール（案）
- No.2-6-1 WG1（体系化）活動報告・方針
- No.2-6-2 WG1 検討資料
- No.2-7 WG2 活動方針
- No.2-8-1 主査幹事会 議事メモ
- No.2-8-2 WG3 資料（中性化）
- No.2-8-3 WG3 資料（塩害）
- No.2-8-4 WG3 資料（凍害）
- No.2-8-5 WG3 資料（化学的浸食）
- No.2-8-6 WG3 資料（ASR）

議事：

**【共通事項】**

- ・ 予防保全アンケートの第 1 弾として、JCI2018 テクノプラザ出展者 94 名に配信済。
- ・ 委員会メンバーにもアンケート URL をお知らせし、内容確認と入力を依頼する。
- ・ 2018 年度の委員会予算消化状況はほぼ予定通り。

- ・委員会活動終了後にシンポジウムとするか報告会とするかは検討継続とする。
- ・報告書作成のスケジュールは、以下の通り。
  - 2019年12月 報告書ドラフト版
  - 2020年5月 報告書初稿
- ・活動2年目の全体委員会開催予定は以下の通り。
  - 第3回全体委員会 2019年8月26日 14:00~17:00
  - 第4回全体委員会 2019年12月で調整
- ・8月の全体会議に先立ち、幹事会を実施する。
- ・シンポジウム開催とする場合には、原稿を一般募集する。その際、論文だけでなく予防保全の実施例などの報告文も集める。
- ・2年間の活動終了（2020年3月末）以降の4月~9月の活動については、新たにJCIから委嘱が出され、多少の（実績値20万円程度）の活動予算がつく。
- ・情報コミュニケーション委員会にて、シンポジウム（または報告会）の開催案内等のニュース配信を行う。

#### 【WG1、WG2 報告】

- ・WG1、WG2は合同で活動している。
- ・FS報告書をベースに材料、工法に関する技術調査、工法の分類と整理を実施中。
- ・工法の評価方法として以下の着目点で情報収集を行う。
  - どのような評価がなされているのか？
  - どこに何が書かれているのか？
- ・各工法の適用性を整理するにあたり、その根拠も含めて精査する。
- ・現状では十分な評価がなされていないものもある。そのような評価の適/不適や過不足、合理性なども整理し、委員会としての提案としてとりまとめる。ただし、それが独り歩きしないような配慮も必要。
- ・工法の評価には、「材料選定のための評価」と「現場での性能確認のための評価」の2種類がある
- ・WG2の委員に建築研究所の松沢氏が推薦され、委員会内で了承された。以後、本人の意向を確認したうえで理事会承認を経て委員追加となる。

#### 【WG3 報告】

- ・予防保全フローは全体共通としての大枠を定め、劣化機構毎に着目点異なるため、個別の詳細フローに細分化されてもよい。
- ・それぞれのアクションの前に思想の話が必要。シナリオデザイン。これは予防保全を行う場合には必ず行われるはずであるが、既往の文献にこれを明記したものはない。
- ・予防保全を理解している技術者が頭の中で判断している事項を「見える化」することが本委員会の役割である。
- ・資料2-8-5の「図-1 維持管理のフロー (b) V字型」に示される流れのイメージを具体化するとよい。

- ・ 予防保全の入り口はいくつもある。
- ・ 手段はフローに限定せず、チェックリストのような形式も考えられる。
- ・ そろそろ報告書目次構成の検討を始める。

【記録：江良和徳】